

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公表番号】特表2005-529834(P2005-529834A)

【公表日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-513214(P2004-513214)

【国際特許分類】

C 0 6 D	5/00	(2006.01)
B 6 0 R	22/46	(2006.01)
C 0 6 B	31/00	(2006.01)
C 0 6 B	43/00	(2006.01)
C 0 6 D	5/06	(2006.01)
B 6 0 R	21/26	(2006.01)

【F I】

C 0 6 D	5/00	Z
B 6 0 R	22/46	
C 0 6 B	31/00	
C 0 6 B	43/00	
C 0 6 D	5/06	
B 6 0 R	21/26	

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月16日(2006.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2 5 ~ 6 0 組成重量パーセントの非アジ化物窒素含有ガス発生燃料、
1 0 ~ 5 5 組成重量パーセントの硝酸金属アンミン酸化剤、
2 ~ 1 0 組成重量パーセントの金属酸化物燃焼速度促進及びスラグ形成添加剤、及び
1 ~ 2 0 組成重量パーセントの過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤
 を含むガス発生剤組成物。

【請求項2】

該組成物が、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物に比べて改良された着火性を有することを特徴とする請求項1に記載のガス発生剤組成物。

【請求項3】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量のNO_xを有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項1に記載のガス発生剤組成物。

【請求項4】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の一酸化炭素を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項1に記載のガス発生剤組成物。

【請求項5】

該非アジ化物窒素含有ガス発生燃料が硝酸グアニジンを含むことを特徴とする請求項1

に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 6】

該硝酸金属アンミン酸化剤がジアンミン銅ジナイトレートを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 7】

該金属酸化物燃焼速度促進及びスラグ形成添加剤が SiO_2 , Al_2O_3 , 及びそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 8】

該過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤が 4 ~ 10 組成重量パーセントの量で存在することを特徴とする請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のガス発生剤組成物を含むシートベルト・プレテンショナー。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のガス発生剤組成物を含む乗員拘束システム装置。

【請求項 11】

25 ~ 60 組成重量パーセントの硝酸グアニジン、

10 ~ 55 組成重量パーセントのジアンミン銅ジナイトレート、

2 ~ 10 組成重量パーセントの、 SiO_2 , Al_2O_3 , 及びそれらの混合物からなる群から選択される金属酸化物燃焼速度促進及びスラグ形成添加剤、及び

1 ~ 20 組成重量パーセントの過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含むガス発生剤組成物。

【請求項 12】

該組成物が、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物に比べて改良された着火性を有することを特徴とする請求項 11 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 13】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の NO_x を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 11 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 14】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の一酸化炭素を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 11 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 15】

該過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤が 4 ~ 10 組成重量パーセントの量で存在することを特徴とする請求項 11 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 16】

請求項 15 に記載のガス発生剤組成物を含むシートベルト・プレテンショナー。

【請求項 17】

25 ~ 60 組成重量パーセントの硝酸グアニジン、

10 ~ 55 組成重量パーセントのジアンミン銅ジナイトレート、

2 ~ 10 組成重量パーセントの、 SiO_2 , Al_2O_3 , 及びそれらの混合物からなる群から選択される金属酸化物燃焼速度促進及びスラグ形成添加剤、及び

4 ~ 10 組成重量パーセントの過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含むシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 18】

該組成物が、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物に比べて改良された着火性を有することを特徴とする請求項 17 に記載のシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 19】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の

組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の NO_x を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 1 7 に記載のシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 2 0】

該組成物が、燃焼したときに、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の一酸化炭素を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 1 7 に記載のシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 2 1】

自動車の乗員拘束システムで用いるのに適当なガス発生方法であって、

25 ~ 60 組成重量パーセントの非アジ化物窒素含有ガス発生燃料、10 ~ 55 組成重量パーセントの硝酸金属アンミン酸化剤、2 ~ 10 組成重量パーセントの金属酸化物燃焼速度促進及びスラグ形成添加剤、及び1 ~ 20 組成重量パーセントの過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含む燃料成分を包含する反応物質に直接着火することを含む、方法。

【請求項 2 2】

該反応物質が、過塩素酸カリウムを含まない同様な組成物に比べて改良された着火性を有することを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

該反応物質が、燃焼したとき、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の NO_x を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 4】

該反応物質が、燃焼したとき、過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤を含まない同様の組成物を燃焼したときの気体排出物に比べて少ない相対量の一酸化炭素を有する気体排出物を生ずることを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 5】

該過塩素酸カリウム・ガス発生剤添加剤が反応物質中に 4 ~ 10 組成重量パーセントの量で存在することを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 6】

50 組成重量パーセントまでの量で硝酸アンモニウム補助酸化剤をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 2 7】

硝酸アンモニウムを含まないことを特徴とする請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 2 8】

50 組成重量パーセントまでの量で硝酸アンモニウム補助酸化剤をさらに含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 2 9】

硝酸アンモニウムを含まないことを特徴とする請求項 1 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 3 0】

50 組成重量パーセントまでの量で硝酸アンモニウム補助酸化剤をさらに含むことを特徴とする請求項 1 7 に記載のシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 3 1】

硝酸アンモニウムを含まないことを特徴とする請求項 1 7 に記載のシートベルト・プレテンショナー・ガス発生剤組成物。

【請求項 3 2】

燃料成分が、50 組成重量パーセントまでの量で硝酸アンモニウム補助酸化剤をさらに含むことを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 3 3】

燃料成分が、硝酸アンモニウムを含まないことを特徴とする請求項 2 1 に記載の方法。